

報告第 3 号

新型コロナウイルス感染症に関するメールの誤送信について

1 趣旨

市立小中学校で発生した新型コロナウイルス感染症に関するメールの誤送信により、個人情報が一部の保護者家庭に流出したことについて報告するものです。

2 流出内容

感染児童生徒1名の個人情報（学校から県及び市教育委員会に提出する学級、氏名、療養状況、家族構成、検査結果等の基礎情報が記載された報告書）及び濃厚接触者となった児童生徒3名の姓

3 経過

4. 8. 22	20時47分	教職員が、コロナウイルス陽性者の基礎情報が掲載された報告書を校長へのメールに添付し、その他濃厚接触者等の情報とともに送信したところ、誤って、保護者・教職員あわせて642人に送信してしまった。 （複数の児童生徒の感染情報を3本のメールで送付し、最初の2本は校長宛てで送ったが、3本目の送信先を誤操作）
	20時49分	保護者からの電話で誤送信が発覚し、メールを削除 その際すでに206人（うち保護者194人）が閲覧済みとなっていた。
	21時14分	校長が松本市教育委員会に電話で報告
	21時～	教頭が該当の保護者家庭へ電話で謝罪
8. 23	9時30分～	校長・教頭が該当家庭に出向き直接謝罪 校長名で全家庭にお詫びのメールを送信
	13時30分	校長会で教育長が訓示

4 原因

保護者及び教職員両者に送信が可能なメールシステムにおいて、伝達メールの作成時に、送付先を校長のみとすべきところ「全体」を選択し、直前の最終確認が不十分のまま誤送信したことによるもの。

5 今後の対応（再発防止策）

- (1) 当該児童生徒について、心のケアをするとともに、いじめ等が起らないよう、当該校への支援を行います。
- (2) 今年度新たに全校で導入し、10月に運用開始予定の連絡システムでは、保護者と教職員に同時に送信するリスクがなくなるため、このシステムによる連絡を徹底します。
- (3) 改めて校長、教頭を含めた教職員を対象とするメール送信に関する研修を実施し、情報漏洩の防止を徹底します。
- (4) メールを送信する場合は、複数人による宛名の確認を徹底します。

担当
学校教育課 課長 塚田 雅宏
学校支援室 室長 坂口 俊樹
電話 33-4397